

(かりや生涯学習ナビ)

ちょっとのまなびが、ずっと自分をらしくする

かりやパレット

特集

市民講師、はじめの一步。

先生1ねんせい

刈谷市在住・イラストレーター／柴田 なつきさん

vol. 02

2026.09



ちょっとドキドキ

だけど伝えたかった

a life palette KARIYA

シリーズ

あの日から、今

子どもたちの幸せのために歩んできた道

マナビノオト

一閑張りがつなく、ものづくりの魅力

生涯学習コラム

わたしの生涯学習

刈谷市まなびMAP

あなたにぴったりの学びを見つけよう



特集

市民講師、はじめの一步。

先生 1ねんせい

はじめて"先生"に挑戦する市民講師を
ピックアップ。料理、手芸、アート
暮らしの中で培ってきた知識や技術を
伝えようと一歩を踏み出した
その思いやきっかけを
お届けします。

"自分の好き"が

誰かの"楽しい"につながる



柴田 なつきさん 刈谷市在住・イラストレーター

担当講座 小学生向け

人物キャラクターの描き方教室
～バランスのコツを覚えよう～

講座内容

目の位置や体の動きなど、キャラクターイラストを
バランスよく描くためのコツを、わかりやすく伝えます。

先生になる ―。それは、知識を教えることではなく、「好き」を誰かと分かち合うことかもしれません。
今回の『先生1ねんせい』では、市民講師として初めて教壇に立つ柴田なつきさんに、その想いを伺いました。

1 「まなびの教室」に応募したきっかけは？

普段はイラストレーターとして仕事をしていますが「自分が知っていることを、誰かの役に立てられたら」とずっと思っていました。市の地域女性活躍推進交付金事業『女性の一步を応援プロジェクト』に参加した時に担当者さんから「今なら間に合うよ!」とまなびの教室のことを教えてもらい、思い切って応募しました。市民講座などで活躍している友人たちがいて、応募をした後には個人的にアドバイスをもらっています。

2 どんな講座にしたいですか？

自分の子どもが「どうやって描くの?」と聞いてくれた時に、ちょっとしたポイントを伝えただけで、絵がぐんと良くなったことがありました。その時に、私はもしかしたら、子どもたちの「わからない」を教えてあげられるかもしれないと思ったんです。私のアドバイスで、子どもたちの絵がこれからどんな風に変わっていくのか、今から楽しみでいっぱいです。

一方で、絵の上手さは年齢や感じ方によっても違い、「隣のお姉さんの方が上手だから、どうしよう…」みたいな不安を感じさせないようにしたいと思っています。人と比べるのではなく、「自分はどんなものを描きたいんだろう?」と、自分の描きたい世界観を少しずつ見つけて、磨いていってほしい。そのために、自分の描きたいものは何なのか、それをどうしたらうまく描けるのか、そこを一人一人に合わせて、一緒に考えながら伝えてあげたいなと思っています。

そして、自分の描いたイラストを誰かに見てもらったり、誰かの描いたイラストを見て自分なりの感想を持つことで、新しい発見や描き方のヒントも増えていくと思います。「あなたにしか描けないイラストがあるんだよ」「あなたにしかない世界観があるんだよ」と、一人一人に向き合って伝えてあげたいなと思っています。

3 開講前の今の気持ちは？

『イラストを描く』ということはずっと大好きだったんですが、学生時代を過ごす中で、周りの子たちが少しずつおしゃれや恋愛などに興味を持つようになり、小学生の頃はみんなで描いていた絵を描く子も減っていきました。自分の好きなことだけが周りと違っていきように感じ、次第に自分のイラストを見てもらい、感想をもらうことが怖くなっていきました。でも大人になった今、今度は身近な家族や友人が背中を押してくれたことで、自分の描いたイラストをみてもらう機会がどんどん増えました。

あの頃の私は、人と違うことが怖くて、「絵が好きなのは変なのかな」と、自分の好きなことに自信を持てずにいました。でも今は、好きなものが人と違っていてもいいと思っています。だからこそ、子どもたちには周りと比べるのではなく、自分の「好き」にまっすぐでいてほしい。そして、イラストを描くことを通じて、「自分の好きなことをもっと楽しんでいいんだ」と感じてもらえるような空間や時間、コミュニティをつくっていかれたらと考えています。



4 子どもたちへメッセージ

「あなたにしか描けないイラストや世界観」を、たっぷりと楽しんで描いてほしいと思います。自分と向き合う時間や、自分にしかないものを誰かに伝える時間を大切にしながら、絵を描くことを楽しめる子をもっと増やしたいです。最近では生成AIなどで、手軽にクオリティの高いイラストを作れるようになりました。そんな時代だからこそ、自分の手で時間をかけて、描けなかったものが描けるようになる。そんな一步一步、階段をのぼるような達成感を感じながら、みんなで成長できる場を作っていきたいです。自分で描いたからこそ感じられる「できた！」や「もっと描きたい！」を、たくさん味わってもらえたら嬉しいです。

5 講師として、これから挑戦したいことはありますか？

個人的には、講師としてもっと成長していきたいと思っています。『まなびの教室』が終わった後にも、マンツーマンや少人数のレッスンなど、今回教えきれなかったことを伝えられる場を作りたいですし、今回抽選で参加できなかった子どもたちのためにも、また開催する機会を持ちたいと思っています。もっとたくさんの子どもたちと交流して、絵を描くことが好きな子同士がお友達になれるような場も作っていきたいです。

そして、子どもたちに教えることで、これまで感覚でやってきたことを客観的に、理論的に考えられるようになってきました。どうしたら子どもたちに分かりやすく伝えられるのかを考えることも、私自身の学びになっています。これからは、講師として「伝える力」もしっかり磨きながら、絵を描くことにおいても、子どもたちから刺激をもらいながら私自身もっと成長していきたいと思っています。そうやって、みんなで一緒に成長できる場を作っていきたいですね。



『キャラクターイラスト』との出会い

物心ついたころから漫画やアニメが好きで、キャラクターを真似して描くことが好きでした。小学生の頃には休み時間に描いた絵の交換会をして遊んでいて、「なつきちゃんの絵、可愛いくから交換して！」と、みんなが欲しがってくれたことが嬉しくて、その後もイラストを描くようになっていったんだと思います。中学生の頃にはイベントがあると絵本を作ってあげたり、社会人になってからも、贈り物に似顔絵を描いて渡すと喜んでいただけたり。振り返ってみると、大人になってからも「イラストを描く」ということが、自分のアイデンティティになっていったんだと思います。

写真 ©key-link

生涯学習コラム

#02

子どもや孫に教わること ～「教わる側」になるのも、まなびのかたち～

「お母さん、こうすればいいんだよ」

子どもや孫にそう言われて、「なるほど！」と思ったことはありませんか。教える側だと思っていたのに、いつの間にか教わっている。そんな場面も、実はまなびの宝庫です。

「教わる」のは少し照れくさいもの。でも、「知らなかった、教えて」と素直に言えることも、生涯学習の大切な一歩です。

まなびに年齢や立場は関係ありません。子どもや孫の言葉をきっかけに、新しいことに興味を持ったり、新しい視点に出会ったりすること。それも、世代を超えた立派な生涯学習です。

「あの子に教えてもらったことを、もう少し調べてみようかな」そんな気持ちが、新しいまなびの始まりかもしれません。

Next >>> あのこと、やりたかったこと。これって生涯学習？

これって
生涯学習？



シリーズ

あの日から、今

A Journey to Now

小さな“一歩”が
道になった —

episode.2 坂田 樹哉さん



子どもたちの幸せのために
まず大人が幸せになる
そのお手伝いがしたい



坂田 樹哉さん (刈谷市在住)

コミュニケーション講師／ライフプランナー

教員歴14年のキャリアを経て、心と経済の両面から保護者を支える活動をスタート。まなびの教室を皮切りに、コミュニティづくりや講演会の開催など、活動の場を広げている。

1 忘れられない、あの子のこと

教壇に立って14年。最後の担任となった小学6年生のクラスで、不登校の子どもを受け持ったことがありました。できることは全部やったつもりでした。でも、それでも胸の奥にずっと引っかかりが残っていたんです。満足も、納得もできなかったその気持ちがやがて、ひとつの確信へと変わっていきました。

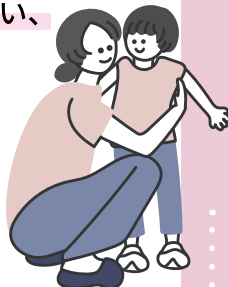
子どもを支えたいなら、
まずその親に寄り添わなければならない。

2 「まなびの教室」との出会い

退職を心に決めていた頃、ふとしたきっかけで「まなびの教室」の存在を知りました。あまり深く考えずに、とにかく飛び込んでみたんです。準備期間にはコミュニケーションについての学びを深め、まなびの教室を初めての実践の場として臨みました。集まってくれたのは8人。みんな、不登校の子どもを持つ保護者の方たちでした。テーマは「心の持ち方とコミュニケーション」。それぞれに抱える事情は違うけれど、人とつながることで幸せを感じられる、そんなコミュニティが少しずつ、でも確かに形になっていきました。

「お子さんのことを心配するのと同じくらい、
自分自身の幸せを考えてほしい」。

その言葉が、参加者の心に静かに、
でも確かに響いていきました。



3 終わっても、続いていくご縁

まなびの教室が終わっても、つながりはそのまま続いていきました。連絡や相談が、形を変えながら届き続けたんです。そんなある日、こんな言葉が舞い込んできました。「不登校の子どもは将来、どれくらいお金がかかるんでしょう…」。コミュニケーションや人間関係については、伝えられることが積み上がってきていた。でも、経済的な人生設計となると、まだそこまで手が届いていなかった。素直に、答えられませんでした。

4 「生きがい、愛そう」との出会い

そんなとき出会ったのが、ライフプランナーという新たな道でした。「生きがい、愛そう」その言葉がすっと心の中に落ちて、気づけば自分もその道を歩み始めていました。コミュニケーションとライフプラン、ふたつの力が揃ったことで、保護者の方たちを心と経済の両面から支えられるようになったんです。良縁だったと思っています。

next

まなびの教室が結んだ縁 いま花開く

今年6月には、富山から講師を招いた講演会とグループディスカッションの開催が決まり、まなびの教室で生まれたご縁が、こうして少しずつ、大きな花を咲かせようとしています。6月28日には総合文化センター小ホールで「大人こそ夢を語ろう」と題したイベントも開催することができました。

あの日、納得できなかった自分が踏み出した一歩が、気づけばこんなにも広がっていた。それが、何より嬉しいです。



杉本 純子(すぎもと じゅんこ)
一閑張り〜純工房〜
1947(昭和22)年、常滑市出身。
一閑張りの講座を主催するとともに、
個展や教室展を開催し、チャリティー
活動も積極的に行っています。

マナビノオト

この先生に注目！アイリス生涯学習講座名鑑

Ep.5

担当講座：一閑張り
杉本 純子先生

● **一閑張りの魅力は、
どんなところにあると思いますか？**

一閑張りは、SDGsの原点でもあると思っています。捨てられていく古布や着物、古書などを活かして、新たな作品として生まれ変わらせることができるんです。老若男女、経験を問わず誰でも楽しく制作できること。固定概念にとらわれず、自分らしいオリジナルの作品を形にできるところが、一閑張りの魅力だと思います。



● **一閑張りを始めたきっかけを
教えてください。**

幼い頃からものづくりが好きで、蔓や流木を採集していろいろな作品を作っていました。ただ近年々、蔓の採集が難しくなってきたので、新しいものづくりを探していたときに出会ったのが「一閑張り」でした。もともと柿渋染めが好きだったので、柿渋を使って作る一閑張りは、まさに理想の出会いだったんです。当時はあまり知られていなくて、柿渋の会社に基本を教わったあとは独学で試行錯誤しながら20年以上続けています。

アイリスで親しまれてきた『マナビノオト』が、この『カリヤパレット』に引き継がれました。混ざるほどに豊かになるパレットのように、学びもまた重ねるほどに深くなります。さて、今回の講師はどんな色を重ねているのか。一緒にのぞいてみましょう。今回は一閑張り〜純工房〜の杉本純子先生にお話を伺いました。

トピックス

一閑張りは、日本に古くから伝わる工芸品で、竹や木で作られた土台に漆や柿渋を使って、和紙などを張り重ねて制作します。

杉本先生は、現代風にアレンジした技法で特許を取得し、オリジナルの作品を数多く生み出しています。

● **これから伝えていきたい
ことはありますか？**

作品を作るたびに新しいアイデアが生まれてきて、「次はこんな作品を作ってみよう」という思いがどんどん膨らんでいきます。その気持ちを大切にしながら、一閑張りをより多くの方に知っていただき、伝えていくことを大切にしています。古布や古書を再利用して、世界にひとつだけの作品を作る楽しさも、これからは伝えていきたいと思っています。



● **刈谷での活動について
教えてください。**

2023年5月、大府市で個展を開催したときに、刈谷市市民講座の担当の方からお声がけいただいて、同年秋から、刈谷市の市民講座を担当しています。連続講座では「ミニ屏風」や「リング付き丸ザル」、1DAY講座では「扇形飾り」など、受講者さんと一緒にさまざまな作品を作っています。

カリヤパレットの4つの色

- 赤 情熱・原点
- 青 理論・信念
- 紫 刈谷での活動・つながり
- 白 未来・想い

わたしの 生涯学習 まなぶ喜びを みんなシェア 募集中

「何歳になっても、学ぶことは楽しい。」
絵を描き始めた。楽器に挑戦している。体を動かすことが日課になった。
地域の歴史を調べるのが趣味になった。

生涯学習を楽しむ市民のみなさんの姿を、写真とコメントでご紹介していきます。きっかけは些細なことでも、続けることで見えてくる景色がある。そんなリアルな声と笑顔をお届けします。
あなたの「学び」も、ぜひ教えてください。投稿をお待ちしています。



投稿募集中！

送り方は簡単！

取り組んでいる習い事・趣味・スポーツ・ボランティアなど、写真1〜2枚とひとことコメントをお送りください。



#わたしの生涯学習
をつけて投稿ください



60歳、ギターを
始めました



1つ買ってみたが
可愛くなりすぎた



市民講座の会場



刈谷市内の「学べる場所」

刈谷市には、あなたの「やってみたい」を受け止めてくれる場所がたくさんあります。そんなスポットをご紹介します。



歴史

刈谷市歴史博物館

刈谷の歴史と暮らしを、展示と体験でわかりやすく学べる場所

刈谷市逢妻町4丁目25番地1



文化・芸術

刈谷市総合文化センター「アイリス」

音楽・演劇・展示から、市民が講師デビューできる刈谷の文化拠点

刈谷市若松町2丁目104番地



科学・産業

夢と学びの科学体験館

プラネタリウムと体験ラボで、科学のふしぎをまるごと体感できる

刈谷市神田町1丁目39番地3



学習・図書

中央図書館

豊富な蔵書と静かな環境で、調べ学習から読書会まで幅広く対応

刈谷市住吉町4丁目1番地



自然・環境

小堤西池カキツバタ群落

日本三大自生地のひとつ。市民が半世紀守り続ける国の天然記念物

刈谷市井ヶ谷町小堤西1



子ども・子育て

中央子育て支援センター「つくしんぼ」

親子で遊び、相談し、仲間をつくれる子育て世代の安心の場所

刈谷市若松町3丁目8番地2
(総合健康センター2階)



スポーツ

刈谷市総合運動公園

陸上競技場・アリーナ・プールなど体を動かす場所がひとつに集まる

刈谷市築地町荒田1番地



交流・市民活動

ミササガパーク

カナダ姉妹都市との友好を記念した公園で、市民交流とイベントを楽しむ

刈谷市半城土西町2丁目4番地

依佐美送信所記念館

日本とヨーロッパを結んだ無線通信の歴史と機械遺産を間近で見ると

刈谷市高須町石山2番地1
(フローラルガーデンよさみ内)

刈谷市美術館

様々な企画展と市民ギャラリーで、アートを見て感じる場所

刈谷市住吉町4丁目5番地

デンソーミュージアム

産業技術の歴史と未来を、展示と体験で深く知ることができる場所 ※要予約

刈谷市昭和町1丁目1番地
(デンソー本社5号館3階)

富士松図書館

北部エリアに暮らす人の身近な読書と学習の静かな拠点

刈谷市東境町神田32番地2

刈谷ふれ愛パーク

「人と自然との調和」をコンセプトに、環境学習など多目的に楽しめる拠点

刈谷市東境町山畑31

岩ヶ池公園

遊具・ゴーカート・豊かな自然で、子どもが一日飽きない公園

刈谷市東境町吉野55
(刈谷ハイウェイオアシス隣接)

ウォーターパレス KC

温水プールで季節を問わず、自分のペースで続けられる健康運動

刈谷市半城土北町1丁目402

市民交流センター

語学学習と多文化交流イベントで、世界とつながる一步を踏み出す場所

刈谷市東陽町1丁目32番地2



市民講座の会場

刈谷市総合文化センター

刈谷市若松町2丁目104番地

南部生涯学習センター

刈谷市野田町西田78-2

北部生涯学習センター

刈谷市井ヶ谷町松ヶ崎6-26

社会教育センター

刈谷市東陽町1-32-2(市民交流センター内)

東刈谷市民センター

刈谷市松栄町2-16-1

富士松市民センター

刈谷市今川町2-152

小垣江市民センター

刈谷市小垣江町小道45-1

北部市民センター

刈谷市東境町住吉78-2



あなたにぴったりの 学びを見つけよう

「何か始めてみたい。」

そんな気持ちに応えてくれる学びの場が、刈谷市にはたくさんあります。目的や興味に合わせて、自分にぴったりの講座・施設を見つけてみませんか。

子ども・親子で楽しみたいなら

夢と学びの科学体験館

科学を「見て・触れて・体験」しながら楽しく学べます。サイエンスショーやプラネタリウム、工作など、予約不要で参加できるプログラムもあります。

刈谷市歴史博物館

歴史やものづくりを楽しく体験。着装体験や工作など、親子で楽しめるイベントも開催しています。

1DAY・季節講座

季節に合わせたテーマで開催される体験講座。子ども向け・親子向け講座も充実しています。



キッズクラブ

週末などに学年の違う子と自由に遊んだり、地域の人々と交流できる機会を設け、人付き合いや自分の考えをしっかりと伝える力などをはぐくむことを目的としています。

仲間と一緒に学びたいなら

かりや出前講座

市内のグループ・団体向けに、市の職員が講師として会場へ出張します。10人以上の団体で利用でき、講師料は無料です(材料費等は実費)。

過去の市民講座



ソーパークーピング



一閃張り



大人バレエ



陶芸

あなたにぴったりの学びが きっと見つかります。

詳しくは刈谷市ホームページをご覧ください。



かりや生涯学習相談窓口

刈谷市総合文化センターでは、皆さんの「まなび(生涯学習)」が気軽に始められるよう“まなびの相談所”として、その第一歩をサポートします。始めてみたいことやわからないことがあれば、いつでもご相談ください。

来館して 直接相談

刈谷市総合文化センター1階総合案内までお越しください。担当スタッフが対応いたします。

電話で 相談

刈谷市総合文化センター(0566-21-7430)にお電話いただき「生涯学習についてのご相談」とお伝えください。担当スタッフが対応いたします。

※担当スタッフが不在の場合は、折り返しのご連絡とさせていただきます。予めご了承ください。

お問合せ

刈谷市総合文化センター アイリス

KARIYA Cultural Center

(指定管理者: トールツリーグループ)

〒448-0858 刈谷市若松町2-104

TEL: 0566-21-7430 (9:00~21:45) FAX: 0566-21-7440



休館日

毎月第1月曜(祝日及び振替休日にあたるときは翌日)

年末年始(12/29~1/3)、その他保守点検等による臨時休館あり

QRコードはデンソーウェーブの登録商標です

令和8年9月発行 | 編集・発行 | 刈谷市総合文化センター(指定管理者: トールツリーグループ)



利用
無料

市内
在住・在学
中高生

中高生の居場所 ● 刈谷市総合文化センター3階

なごみんはあと

自習スペース

おしゃべりOKのフリースペース

【日時】 毎週火・木曜日 16:00~21:00

※祝日、学校が長期休暇の期間はお休み

【お問合せ】 刈谷市役所 生涯学習課 TEL: 0566-62-1036